一身田の新聞

発行
一身田地区
社会福祉協議会

平成25年度が胎動

一身田を取り巻く環境どう変化！

津市の今後五年間の設計図とも云える「津市総合計画後期基本計画」。新しい施設や、三重県が今年度から三年間かけて展開する「実はそれ、全部三重なんです」の観光キャンペーンに津市はどのように取り組むか、一身田寺内町の観光化像ついての関心が高まる。

津市総合計画後期基本計画は、津市が平成25年度から29年度までの五年間、津市の成長戦略を記した243頁にも及ぶ提言書である。

一身田やその周辺に新しい施設建設が決まっているのは、津インター近くの産業スポーツ施設の建設。武道館や屋内プールは平成28年度までに完成する。展示機能を持つ第一アリーナー、第二アリーナーも建設する。

三重県が平成30年に高校総体、同33年に国民体育大会を誘致しているが、窪田地区に屋外スポーツ施設建設構想は、整備用地として、9ヘクタールが可能であると発表したが、環境や排水問題などの課題もあり、現段階では具体的な青写真は描かれていない。市民の意見や対話を通じて検討する。（津市役所政策課）

観光地として認知されるか寺内町

「実はそれ、全部三重なんです」の県の観光キャンペーン事業。津市は、寺内町や美杉の北畠氏城館跡など古い町並みや史跡を整備する。県庁所在地の津市には、国や県の出先機関や民間会社の支店・出張所も多く、人の出入りも多い。

「ちょっと高田本山を見学しよう」「ちょっと環濠を見てみよう」など『ちょこっと観光』から推進する。（同課）

高田会館（旧：高田青少年会館）の改修によって運営形態も大きく変わる。運営は民間に委託され、レストランや売店、温浴施設、宿泊施設が新しくなる。

官民あげての共働作業によって街の活性化に期待がかかる。

高田会館の大規模改修

一身田の中心的役割を担っている高田会館（旧高田青少年会館）の耐震・改修工事の完成・引き渡しは7月末になりそうだ。この改修によって一階は温浴施設・コミュニティレストラン・売店・研修室、二階は和室・洋室の宿泊施設として10室（宿泊人数49人）利用できる。高田会館は昭和48年に青少年の健全育成を目的にホール・レストラン・売店や宿泊施設を兼ね備えて建てられた。高田本山の改革により、運営や維持管理は民間委託され、株式会社「あかり屋」が行うこととなった。（株）あかり屋は、一身田商工振興会加盟店27店が出資し1，000万円の資本金で設立された。

4月18日設立総会が開かれ、社長に下津浩嗣氏が就任した。下津氏は、「この建物が一身田の拠点となり、昨年完成した大ホールや新しくなるレストラン・売店で『新制・一身田』を売りたい。そして、一身田の商店と協力して魅力ある街作りの一翼となりたい。」と語った。

新装オープンは9月を予定。オープニングイベントを検討。「乞うご期待！」と話す。

耐震・改装工事中の高田会館

高田会館の耐震・改修工事完了は７月末か？！

運営は民間会社「あかり屋」が行う

津市基本計画　観光地？！寺内町
一身田小学校入学者１１０名
みんなの便り　一身田の「こと」

一身田小学校へ１１０名が入学

市内3番目のマンモス校

津市内の53校と分校1校の小学校の入学式が4月8日（月）一斉に行われた。

一身田小学校には、男子55名・女子55名の計110名が入学式を迎えた。

津市内の新一年生は2306名。一身田小学校は3番目に大きいマンモス校となった。

午前10時からの受付時前から、スーツ姿の父親やきもの姿の母親に手を引かれた子どもらが掲示板に貼られた自分のクラスを探し、あちこちで歓声が上がっていた。手続きを終えるとそれぞれの教室に入り、真新しい黄色の帽子やランドセルカバー、教科書などの持ち物を確認した。

10時30分から同校体育館で多くの来賓を迎え式典を行った。

国歌斉唱、校歌斉唱に続き、学校長の歓迎挨拶が行われた。この中で古金谷初美校長は新一年生に「小学校ではたくさんのお友達を作って下さい。お友達を作る魔法の言葉は挨拶です。おはよう・さようならと誰にでも声をかけて下さい。」と話された。新六年生代表からは、「学校は運動や勉強をする所です。なかなか大変ですが、とても楽しい所です。私たちと一緒に頑張りましょう。」と、激励の言葉。六年生全員で「きみとぼくの間に」を合唱した。新一年生退席で式は終えた。

一身田小学校は男子392名、女子319名の711名。各学年とも4クラス。職員は先生・カウンセラー・調理員など総勢61名体制。

古金谷校長

一身田小学校入学式

一身田の人口１３，２７３人

平成　25年4月1日現在

津市の住民基本台帳によると、4月1日現在、一身田の人口は13，273人であることが分かった。（公称町名※注）男女別では男性6，934人、女性6，339人、外国籍の方は男性133人、女性147人の計280人。地区別では一身田町2，302人、一身田大古曽1，152人、一身田中野2，012人、一身田平野1，571人、一身田上津部田4，355人、一身田豊野1，881人と、上津部田が抜きんでている。

総世帯数は5，796世帯。面積は7．71K㎡。

（※注）公称町名とは、住民基本台帳に一身田と明記されている町名で、行政区の桜町や志登茂団地の栗真地区、夢が丘は含まれない。

一身田交番管内の事件

一身田交番の管轄は、一身田・白塚・栗真・夢が丘・河辺町の一部である。平成24年1月1日～12月31日までの事件件数は、凶悪犯2件、粗暴犯8件、窃盗犯318件、知能犯12件、風俗犯2件、その他79件の計421件の刑法犯罪が起きている。

一身田地区の火災件数

平成24年1月1日～12月31日までの火災件数は、建物火災2件、その他火災2件、林野火災1件の計5件発生した。

資料提供　一身田支所

一身田商工会

新会長に中川隆功氏

4月17日、一身田商工振興会（加盟69店）の総会が行われ、新役員が決定した。会長には中川隆功氏（中川洋装店）が満場一致で選ばれた。事業計画・予算案も承認された。

7月6日（土）
「一身田七夕まつりと盆おどりがコラボ！」

一身田青年団主催の「一身田七夕まつり」が今年は第30回を迎える節目となり、7月6日（土）に盛大に行われる。今年は、商工会も加わり、仲ノ町商店街では、一身田小学校の子供達の手作りロウソクを並べる他、手作り商品等を扱う雑貨店も多数出店して、賑わいに花を添える予定。

さらに、8月中旬に行われている「盆踊り」も同日に『開催することが決まった（例年8月中旬に行われている盆踊りを移行）。

7月6日は、町を挙げての老若男女が一同に楽しめる一大イベントとなる！「お楽しみに！」と中川新会長は抱負を語った。

一身田にも活断層？！

阪神大震災、東日本大震災と大震災が続いています。

ところで、今、原発でも話題の「活断層」が、身近なところにもあるのをご存じでしょうか。

県の防災ホームページに紹介されているのが、一身田地域の二つの断層です。一つは上津部田、今一つは東豊野です。いずれも推定の段階ですが、注意しておいていいのではないでしょうか。

（情報提供若林泰弘氏）

「一身田の新聞」を年4回発行しています。
皆さんお持ちの「一身田のこと」の情報や知識を共有化しませんか！。紙面に掲載します。詳しくは編集者　岡本まで
電話（059）　232　2109

みんなの便り

「よろしくお願いします」

一身田小学校長　古金谷　初美

「花冷え」というには、寒すぎる4月ですが、教室前の花壇は、チューリップやキンギョソウ、パンジーが咲き誇っています。ボランティアさん達がお世話して下さっている姿を見ました。とても嬉しかったです。おそらく、もっとたくさんの場面で地域の方にお世話になっているのだと思います。

ご挨拶が遅れましたが、4月の異動により河芸町にある黒田小学校から東谷校長先生の後任として転任してきました「古金谷初美（こがねやはつみ）です。どうぞよろしくお願いいたします。私は、平成6年から7年間一身田小学校でお世話になっていました。寺内町まつりで担任していた子どもたちと一身田音頭を踊ったことや、夏の暑い日に高田本山の周りの環濠に絵を描いたことを思い出しています。

今、一身田小学校は児童数711人、教職員61人の大規模な小学校です。登校時に通用門に立っていると元気に「おはよう」と挨拶してくれるたくさんの子どもたちや、朝早くから夜まで、学年や学級の活動内容や子どもたちのことを話してくれる先生がいます。再び来させていただいた一身田小学校で「私にできることは何か・・・」安心安全な学校、子どもたちへの学力保障、保護者や地域の方々との連携、子どもたちや先生たちが元気な学校・・・、思い描く理想の姿に微力ではありますが、精一杯努力したいと思います。

一身田小学校の地域連携

一身田小学校では昨年から、「一身田小学校キャリアバンク（人材登録）」を開設いたしました。地域のみなさんにゲストティーチャーになっていただき、専門的な技術やご経験を柱に授業をしていただくというものです。自治会・商工会等を通じても結構ですし、直接学校の方にご連絡ください。

一身田小学校

昨年度は、社会福祉協議会さんに10名ほど来ていただき、昔のあそびを1年生に教えていただいたり、ゲストティーチャーとしてこんにゃく作りを教えていただいたり、また、寺内町のほっとガイドさんに来ていただき、寺内町の歴史などの話や街を案内していただいたりしました。

高田保育園

5月7日から新園舎で保育

昭和41年4月に一身田で産声を上げた高田保育園は、創立48年を迎えた。昨年4月の親鸞聖人750回忌報恩大法会の頃より本格始動した園舎移転（旧慈光院跡地）も地域住民の協力、工事関係者の尽力で、まもなく完成、5月7日から新園舎で保育が始まる。定員は90名から110名へと増員し、朝7時から最長夜7時まで、延長保育時間は夜8時まで（要予約）となっている。新園舎は、送迎時の負担を軽減すべく、各居室を一階に配置し、万が一の津波到来に備え、二階ホールに災害備蓄品を収納する倉庫を備え付けた。また、緊急時に迅速脱出できるように避難用すべり台を設置した。園庭に面したテラスには、雨天でも屋外遊びが可能となる。

地域で暖かく見守って下さい」と職員一同願っている。

急ピッチで工事が進む高田保育園
連休明けから新園舎で保育

上津部田にまたまた新名所

新県立博物館の建物完成まもなく！

一身田上津部田の総合文化センター横に、平成26年4月オープン予定の新県立博物館がお目見え、4月9日、見学会が開かれた。新県立博物館は、総工費71億円、建築面積10,000㎡、三重県産の木材や石材をふんだんに使った三階建て。3年の工期を経て来年4月に完成する。

幼児から高齢者・障がい者など社会的弱者に対する配慮が至るところにされている。その一例がトイレ。洋式・和式・子供用・介助犬利用可のトイレがある。一階は、概ね調査・研究室と収蔵庫に宛がわれる。二階は、資料の収蔵庫と、県民誰もが企画提案したものを発表できる交流展示室や実験・実習できる部屋で構成されている。飲食を持ち込めるスペースもあり、眼下には広い庭園があり、まさにホットする空間である。三階は、常設展示場と企画展示場。常設展示場は約600畳の広さである。

庭園あり、安らぎの空間あり、実験・実習室あり、企画・提案する場ありの様々な楽しみ方ができる施設で、従来のイメージとはほど遠い博物館である。来年4月完成。開館は5月の予定。

新県立博物館　姿あらわす

平成25年度一身田地区

防災活動の取り組みについて

一身田地区自治会連合会　望木幹雄

一昨年3月の東日本大震災の惨状はまだ皆様の記憶に新しいことと思います。一身田地区も三重県で作成した災害マップ（平成23年版）によると東南海地震が連動してM9.0の大震災が発生した場合、最悪で予想される震度は6強、津波による浸水は2～3mと想定されています。相当な被害を受けるものと予想されますが、対策次第ではそれを大幅に減ずることが可能で、東日本でもこのことは実証されております。今回岩崎第2病院が病院側のご厚意もあって『津波一時避難ビル』に指定されました。しかし、あくまでも『一時避難』であり、収容人数も有限です。早急に『弱者優先避難の運営ルール』を作成する必要があり現在病院と打ち合わせ中です。

25年度は、一身田地区自治会連合会、自主防災会の活動計画に避難訓練の実施、避難困難者（弱者）への援助活動等を最優先に盛り込み、実際の訓練を行なうことで様々な問題点を洗い出し、防災専門家の助言も頂きながら、対策や解決策を地区全員が共有することで災害時援助活動の円滑化を図っていきたいものと考えております。

非常の場合こそ、それが大規模であればあるほど、地区の安全は地区の住民自身で（自助努力）守らなければなりません。

どうか減災を目標に避難訓練も含めて皆様のご協力を頂きたく、本紙面をお借りして、お願いするものであります。

しともおはなしの会

一周年を迎えました

志登茂会館で月に一度開いている「おはなしの会」は、今年3月で一周年を迎えました。大人の方にも参加していただき「これ読んでみたら？」と絵本を紹介して頂いたり、「つばきの花」などの折り紙をプレゼントして下さる方もあります。また、志登茂第3自治会には年間行事に組み入れて頂くなど地域の方々のご理解と応援のもとに行っています。

13回の延べ参加人数は、子ども95人、大人112人となりました。主催の4人も大いに楽しませて貰っています。「今度はどんな本にしようか？」「どんなお話にしようか？」と、子ども達の顔を思い浮かべながら、頭をひねって準備することもとても楽しいのです。

これからも地域の方々のちょっと楽しい場であり続けたいと思っています。志登茂園にお住まいでない方も、チラリとのぞいてみて下さい。飛び入りの読み手も大歓迎です。

連絡先
志登茂第3自治会
広瀬玲子
電話（232）6869

一身田観光振興懇話会より

会長　中西万喜夫

春来たりなば、もう新緑の山肌。この冬に極寒と言う表現がぴったりでした。時に早く、時に遅く、時に流れる速さの感じ方が交錯します。

観光振興会も、24年度諸行事を無事終えることができました。春、秋の環濠と町内清掃、お盆の野外映画会、高田会館でのレトロ映画祭2回、専修寺御堂内で初めて宗教関係ではない、コンサートを行いました。また、観光看板3枚を設置しました。ご参加、ご助力、ご協力頂きました皆様、衷心より御礼申し上げます。

25年度も、春の環濠と町内清掃を計画致します。どうかご協力宜しくお願い致します。

町とご本山と、近い将来生まれ変わる高田会館と、一緒になってより好きになってもらえる町をつくりあげたいと思っています。

志登茂会館では、月1回、折り紙教室も行っています。「宝船」「祝い鶴」やおはなしの会にプレゼントして頂いた「サンタさん」「ワンピース」などを紹介します。